


肩関節手術

担当医師
担当看護師

様

術前			
達成目標	◆手術に対する心身の準備が出来ている。		
日付	2日前	1日前	術前(当日)
投薬・注射 手術	 ◆痛み止め、胃薬などを飲んでいただきます。◆痛みが強い場合は痛み止めを追加します。	 ◆寝る前に下剤と睡眠剤の服用があります。	 手術準備のための点滴があります。  ◆眼鏡、入歯、コンタクトレンズ、指輪、アクセサリなどははずしてください。  ◆マニキュアは除去してください。  ◆手術用の服、紙パンツに着替えます。  ◆時間になりましたら歩いて手術室にいきます。  ◆排便が無ければ浣腸をします。  ◆医師の指示がある場合少量の水で内服をします。
検査			
リハビリ			
食事	 通常の食事です。	 ◆ 月 日 時以降 食事は出来ません。 ◆ 月 日 時以降 水分は摂れません。	
生活 (安静度・観察)	◆痛みの範囲内で日常生活が可能です。		 ◆眼鏡、入歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ、補聴器などははずせるものは術前に全てはずしてください。  ◆マニキュアをつけている方は落としておいてください。
清潔	◆入浴日であればシャワー浴が可能です。(男性：月水金、女性：火木土)		
その他	◆手術・入院生活に対して不明な点があれば医師・看護師にお尋ねください。	◆麻酔科医師による診察があります。	◆手術室看護師の術前訪問があります。

術後（手術直後～3日）

達成目標	◆痛み疼痛のコントロールが出来る。 ◆良肢位が保てる。			
日付	術後（当日）	術後1日目	術後2日目	術後3日目
投薬・注射 手術	◆手術後の点滴が翌日まで続きます。 ◆痛み止め、胃薬などを飲んでいただきます。 ◆痛みが強い時は痛み止めを追加します。 ◆医師の指示によって酸素マスクをつけることがあります。	◆朝と夕方に抗生剤の点滴があります。	◆朝と夕方に抗生剤の点滴があります。 ◆創部の消毒をします。消毒の必要のないテープに貼り替えます。	◆朝と夕方に抗生剤の点滴があります。
検査	◆手術直後にレントゲン検査があります。	◆朝食前に採血検査があります。		◆朝食前に採血検査があります。
リハビリ	◆理学療法を開始します。 ・肘の伸展運動を行います。 ・仰向けや横向けに寝た状態で、肩の筋肉が固まらないよう理学療法士が周辺の筋肉を動かします。			
食事	◆特に問題が無ければ、3～5時間後に食事が出来る状態かを確認します。少量の水分を飲んで、むせ、むかつき、吐き気が無ければ食事可能です。	◆通常通りの食事になります。		
生活 （安静度・観察）	◆外転枕を装着して手術室から戻ってきます。外転枕は医師が指示する期間、装着したままで生活します。（約1ヶ月：28日） ◆食事の頃より痛みの程度に合わせて座ったり立ったりできるようになります。 ◆肩は動かさせませんが、肘の曲げ伸ばしは可能です。	 <p>外転枕</p>		
清潔		点滴終了後、からだを拭いて着替えができます。	入浴日であればシャワー浴をしていただけます。入浴時は入浴用の装具に付け替えます。	
その他				

	術後（4～7日）		術後2週間～3週間（8～21日）				術後4週間	
達成目標			◆良肢位を保持し、可能な限り日常生活を自己にて行える。				◆退院後の生活について理解し、準備が出来る。	
日付	4～5日 後	6日後	10日後	11日後	13日後	14～21 日後	22～27 日後	28日後
投薬・注射 手術			 ◆抜糸を します。	 ◆創部から の出血など がなければ、 ガーゼ等 の必要が なくなります。				
検査		 ◆朝食前に採血 検査がありま す。  ◆レントゲン検 査があります。			 ◆レントゲ ン検査があ ります。			
リハビリ								
食事								
生活 （安静度・ 観察）								◆外転枕をはず し三角巾での固 定となります。 
清潔								
その他								